



\* 国名にはリンクを張っております。あわせてご確認ください。

## JICA 初となるドル建て借款、ディスバースへ 島嶼国の効率的なエネルギー活用を支援！

米州開発銀行との協調融資「エネルギー管理及び効率化事業 (Energy Management and Efficiency Programme、15 百万ドル)」が、初回ディスバースを迎えます。ジャマイカ向けの借款は約 20 年ぶりの供与であり、国内全域の公共施設における省エネルギー技術・機器導入工事や、首都キングストン市内の運輸セクターにおける交通管制システム確立に係る支援を実施します。JICA 初のドル建てスキームの活用により、米国経済の影響を受けやすいジャマイカにとり、為替変動リスクや通貨スワップコストの大幅な軽減が期待されています。

2019 年は、カリブ4カ国を対象に「カリコム省エネルギー推進プロジェクト(広域)」も開始予定であり、エネルギー安全保障の向上に貢献していきます。



借款貸付契約署名式の様子



省エネ機器導入予定の地方保健施設

## エクアドル①

### いちおし!

#### 日本の技術力で、災害時でもすべての人に等しい情報アクセスを

2019年4月からエクアドルで、中小企業海外展開支援事業として、災害時の視聴覚障がい者の情報アクセスを保障する放送・通信インフラ整備事業が開始される予定です。

この事業は大阪を拠点とする株式会社アステムが開発した「IPTV 配信サーバ・パッケージ」と多機能受信機「アイ・ドラゴン」を活用し、災害発生時に情報弱者を含むすべての人が避難警報などの命に関わる情報を得られることを目標に掲げています。

2011年の東日本大震災においても活躍したこのシステムを用いれば、災害発生後直ちにテレビ番組にIPTVによる字幕、手話、音声解説などの補完情報を表示したり、地デジ非対応地域に音声付フラッシュライトや字幕による警報を通知したりすることが可能になります。

日本同様、災害多発国であるエクアドルでは、2016年4月にも沿岸地域でM7.8規模の地震が発生しています。その総被災者23万人のうち1万人が何らかの障がいをもった方々であり、政府も社会的弱者に配慮した防災対策を緊急課題として位置づけています。

今回の事業は、日本の対エクアドル支援重点分野の二本柱である、社会的弱者への援助を通じた「格差是正」と増加する自然災害に対する「防災と環境保全」の観点からも、非常に重要だと期待できるでしょう。



通信・情報社会省(MINTEL)関係者に対して製品の説明をする様子

エクアドル事務所の情報はこちらから↓

<https://www.jica.go.jp/ecuador/>

<https://www.facebook.com/JICA-Ecuador-1449678225354548/>

## エクアドル②

### いちおし！

#### 2018 年度は充実した帰国研修員同窓会活動が実施されました！

昨年度エクアドル帰国研修員同窓会は新たに地域セミナーを開始し、より活動が充実した年となりました。

まず 2018 年 10 月にチンボラソ県リオバンバ市において「防災」をテーマとしたセミナーが帰国研修員により実施されました。続いて 2019 年 1 月には同じく防災をテーマとしたセミナーがグアヤス県グアヤキル市で開催され、2 月には「障害」をテーマとしたセミナーがインバブラ県ヤチャイ学術公園で開催されました。いずれも 100 人を超える人々が集まり、熱心に帰国研修員の話聞いていました。

これまでは帰国研修員同窓会では地域総会を開いてきましたが、運営上の話が中心で、様々な課題を取り扱うセミナーは今回が初めての試みとなりました。同窓会メンバーも JICA 事務所メンバーも試行錯誤しながらの実施となりましたが、帰国研修員が日本で学んだ知識を地域で広める大変すばらしい活動となりました。

また、2019 年 3 月には帰国研修員同窓会年次総会が開かれ、2020 年 1 月のラテンアメリカ帰国研修員同窓会連合の総会の実施や、アクションプラン実施の支援のためにミニプロジェクトを支援する方向性等話し合われました。来年度はより充実した活動になることが期待されています。



帰国研修員同窓会中心メンバー

エクアドル事務所の情報はこちらから↓

<https://www.jica.go.jp/ecuador/>

<https://www.facebook.com/JICA-Ecuador-1449678225354548/>

## グアテマラ史上初「国定数学教科書」 子どもたちに届け！

JICA の協力で開発した中学校の数学教科書がグアテマラ教育省の予算で印刷されています。4 月下旬には大統領や教育大臣参加の下、国家宮殿にて教科書引渡し式が予定されています。これまで国が指定する教科書がなかった事を考えると、国内の 17 万 4 千人の中学生一人一人への教科書配布は大きなインパクトとなります。



新教科書を受取った教員養成校の生徒たち



さっそく内容を確認して納得の様子

同教科書は既に一部の中等教育教員養成校で『数学指導法』を受講している生徒に手渡され活用されています。また、現場の教員が使用する教師用指導書も 4 月に配布予定です。



教員は新教科書に沿って授業を実施



新教科書は生徒自らが問題を解くことを重視

新教科書がグアテマラの教育現場で活用されることで、SDGs の目標でもある、全ての子ども達に教育の機会を与えるきっかけになることを事務所として願っています。JICA グアテマラは同国の算数・数学教育向上のため、更なる協力を続けていきます。

## ブラジル

### いちおし！

#### 環境教育の市民公開セミナーをジャパン・ハウスにて開催！！

4月30日（火）、JICA草の根技術協力事業「サンパウロ州カサパーバ市における環境教育推進事業（2017年8月～2020年6月）」の一環として、環境教育をテーマとした市民公開セミナーがジャパン・ハウスで開催されます。

同事業は先行事業「サンパウロ州小学校教員の環境教育指導力向上事業（2014年8月～2017年2月）」の成果をさらに発展させたもので、これまでにカサパーバ市内の小学校全13校の教員160人を対象に、しまね国際センターの教育専門家による環境学習の指導が行われました。これにより、現地の小学生約5500人に自然を守る意識を根付かせることを目指しています。更にこの活動は小学生に限らず、保護者、市民にも広げていく方向で進められています。

本セミナーでは、同事業に関係する教授や専門家を日伯両国から招き、環境教育の理解促進を図る予定です。



島根県で訓練を受けるカサパーバ市の  
教員グループ



カサパーバ市小学校の野外授業の様子

### いちおし！

#### 『地域警察活動普及プロジェクト』公開セミナーを開催！

ブラジルで長年続けてきた技術協力プロジェクト『地域警察活動普及プロジェクト』の成果の一つである地域警察国家指針の公開セミナーを4月12日、ブラジリアの伯法務・治安省にて開催いたします。

このセミナー時に、伯法務・治安モロ大臣による地域警察国家指針署名が予定されており、当該指針が正式化されることで伯国内での地域警察のさらなる発展が図られます。

この式典に日本政府側からは山田大使をはじめ、警察庁国際課国際協力室紺野室長及び JICA ブラジル事務所佐藤所長も出席予定。ブラジル側は法務・治安省関係者以外にブラジリア連邦区警察及び 26 州警察の地域警察コーディネーターが参加し、今後の方針について議論を深めます。今後、ますます日本の地域警察の取組がブラジルの治安改善に貢献できることが期待されます。

[表紙へ](#)

以上